

No. 22

1992

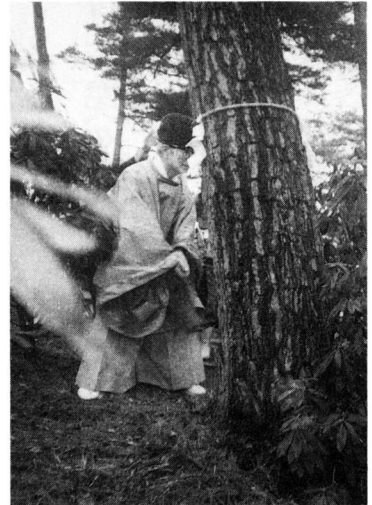
4月1日発行

萩の郷

発 行 者
下 市 田 区
発行責任者
下 井 武 平
印 刷
下市田・キタバヤシ印刷



里曳きのようす



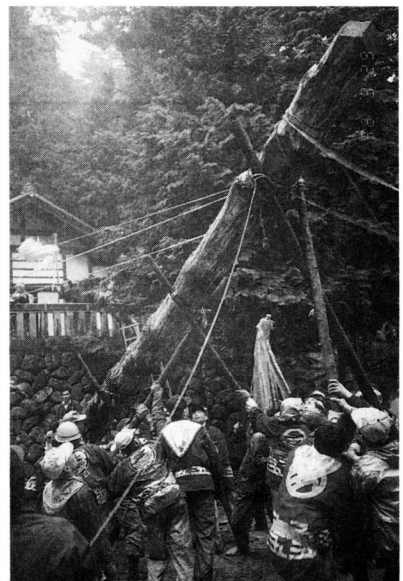
斧 入 式



縄打ちの方法



区民による縄打ち



御柱建立

豪快だった御柱祭

下市田の鎮守、萩山神社の七年来毎に行われる式年祭「御柱」が、次の日程で三月中に実施された。

。 一日 関係者の会

「申年厄年」等

。 八日 検木 北は大丸山、南は巡礼沢より各一本

。 一五日 山出し（神事、伐採、曳出）

。 二二日 縄打（曳綱作り）

。 二九日 里曳きと建立

建立の当日は、曇時々小雨の空であったが、区民総出により木遣りの掛け声も勇ましく、豪快に御柱の里曳きと建立がめでたく終了した。

区の情勢について

区長 下井武平

裁判については、昨年十二月十八日長野地裁飯田支部で判決があり、全面勝訴となりましたが、相手方は東京高裁へ上告したそうでありますので、今後は高裁で争う事になります。

道路関係では、萩山保育園西側附近が、事情により一部平成四年度に延期され、田村線は二区で一五三米、五区で八三米が着工され、三月末迄に完成予定。朝霧道路の舗装四三七米も三月末迄に完成予定であり、お祭り広場も着工され、之に関連した「出砂原の巨石」の広場移動についても町へ陳情しました。

高寿館の取壊しは、高松不動産と契約し、二月中に完了、境界確認も近く完了の予定です。

排水の問題、水路の改修、農免道路、公共下水道、第一次農構改善事業の際の耕土不足等諸問題の集中した下市田河原、特に黒沢下地帯については、永年の懸案事項も含め町と関係者の話し合いが難行していましたが、町当局も前向きな検討を約束され、今後話し合いが出来る事になりました。又、明神橋の架替えについては、漸く具体的になりつつあり、特に橋の位置については、地元の意志の統一が第一と考えますので、今後町と一体となって進めて参りたいと考えます。

天竜社跡地については、

氏子総代着任挨拶

萩山神社総代長 小林 恵

一雨毎に春めいて暖かく、桜の開花も早いと云われております。昨年十一月各部落で選任され、区報第二十

昨年来、近隣町村及び近隣農協と一体となり診療所の大病院への昇格の陳情を行ない、天竜社所有地の利用法等についても検討を進めています。地元として強力な支援をお願いします。

尚、本年は萩山神社の式年祭「御柱」の年に当り、三月一日関係者「申年厄年」等の協議により、三月八日検木、三月十五日山出し、三月二十二日縄打ち、三月二十九日神社夕祭の当日御柱曳き及び建立を行ないました。区民総出でのご参加に心から御礼申し上げます。



御指導を頂いて祭事に奉仕をし、また建物や境内其の他の維持管理に誠意を以って努力致して参ります。

区民皆様の暖かい御理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。就任の挨拶と致します。

平成4年度下市田公民館年間行事計画

(自 平成4年4月1日 至 平成5年3月31日)

体 育 部 (区・町)		教養部・視聴覚部		コ ミ ュ ニ テ ィ ー (体育関係・各部落)		コ ミ ュ ニ テ ィ ー 其 の 他 (各 部 落)	
月日曜	行 事 内 容	月日曜	行 事 内 容	月日曜	行 事 内 容	月日曜	行 事 内 容
6/14(日)	区スポーツ大会 ・ソフトミニバレー (町体) ・グランドゴルフ (町グ)	3/29(日)	ビデオ撮影 萩山神社春祭り (御柱曳き)	4/12(日)	1区スポーツ大会 常会対抗 ・グランドゴルフ (町G) ・ソフトミニバレー (町体)	4/12(日)	4区ふれあい広場 文化展・芸能発表他
7/12(日) (19)	町スポーツ大会 ・ソフトミニバレー (町体) ・グランドゴルフ (町・中グ)	4/12(日)	4区ふれあい広場 (音響照明)	5/17(日)	6区スポーツ大会 常会対抗 ・グランドゴルフ (出砂原運動場)	5/10(日)	3区スポーツ祭 (南小G及び体育館) 綱引、Gゴルフ ドッジボール他
8/16(日)	町盆野球大会 (町グ・小中グ)	6/ 1(土) (27)	地元町議との 懇談会	6/28(日)	2区スポーツ大会 ・グランドゴルフ (河原田農試グランド)	7/25(土)	1区ふれあい民踊広場 中央公園 (兼萩の里祭練習)
2/14(日)	町スポーツ大会 ・ドッジボール (町体)	8/ 1(土)	萩の里祭り ・盆踊り ・お楽しみコーナー (下市田保育園庭)	8/23(日) 予備日 8/30	4区運動会 常会対抗 (南小校庭・体育館)	7/ 中	2区納涼祭 (2区コミュニティ広場)
2/21(日)	区スポーツ大会 ・卓球大会 (町体)	9/28(土)	区カラオケ大会 (萩山神社秋祭の夕祭)	10/25(日)	1区運動会 (南小G)	8/ 上	6区出砂原納涼祭
		10/17(土) 18(日)	区文化祭・敬老会 (作品展、クラブ発表会 他)	1/31(日)	3区卓球大会 (下市田公民館)	8/ 中	6区盆踊り大会 (駅前) 部落会主催
		11/ 中	町ふる里祭り	2/ 7(日)	1区卓球大会 常会対抗 (町体)	8/18(火)	6区灯籠流し
		2/ 下	教養講座 (講演会 他)	2/ 7(日)	6区卓球大会 常会対抗 (町体)	9/ 上	6区敬老会 (地区館) (部落主催)
図 書 部	1. 図書貸出…定期 毎月15日 (5月～9月…Pm8:00～9:00) (10月～4月…Pm7:30～8:30) 公民館2階。定期以外は部員不在…しかし常時借用できます。(備付けの名簿に記入) 2. 図書の購入…6月部員会で研究の上購入する。 3. 郷土関係者の出版本及び新購入図書の展示…10月文化祭 4. 部員会…必要に応じて開催 (図書の修理、整理、運営について)			3/14(日)	2区卓球大会 (2区センター)	9/ 6(日) 予備日 9/13	5区スポーツ大会 (部落主催) (南小G・体育館)
						10/ 4(日)	5区独立所帯との 交流会
						10/25(日)	1区芸能祭 (福祉センター) 常会交歓交流会
						11/ 1(日)	2区区民運動会 (河原農試グランド)
						11/ 3(火)	3区ミニ運動会 (南小G)

二年目の抱負

—公民館各部長—

目新しいことを
とりいれて

教養部

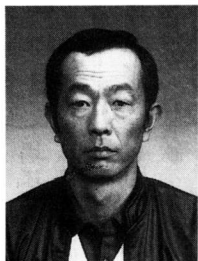


澤 泰一

区民の皆様一年間お世話に成りました。昨年度を振り返りまして、三月の講演会、六月の懇談会、七月の萩の里祭り、九月のカラオケ大会、十月の文化祭・敬老会、と大勢の方々に御参加を頂き、教養部員一同にかわりまして厚く御礼申し上げます。私共は、公民館主催の行事の企画と進行を担当しております。

二年目に当り今後の抱負をと原稿依頼を頂きました。一年間にもわからず、只一生懸命でした。二年目に入り二月の講演会は、気功太極拳を企画しました。二度目の講演会では皆、気分

コミュニケーション
活動の場作り
体育部



鎌倉孝三

区民の皆様、日頃は体育

的にもゆとりができて自分の仕事を余裕持って担当できました。任期最後の年でも有りますが、公民館主催の行事は年間を通じてほぼ決まっております。その中で楽しいことや、目新しい事を取入れて大勢の方々に参加して頂ける様にと考えております。秋の文化祭では、一日目の午後、子供達と簡単な体操やゲーム、またクラブ発表会の展示物の中へもクラブ員以外で個人の作品を発表する場を設けるのも良いのではと考えております。大勢の皆様のお協力と御参加をお願い致します。

部の事業に大変協力を頂きまして厚くお礼申し上げます。不慣れな者で皆様にご迷惑が多いと思いますが、幸い良き部員の方々に始め区民の方のご理解、ご協力により三年度事業も計画通り終えることができました。

体育部は各部落より三名、計十八人の部員構成で行なわれています。「スポーツは参加することに意義がある」といわれる様に、体育行事は区民の方々のコミュニケーション活動として欠く事のできない事業だと思っております。その代表的なスポーツに、卓球・ソフトミニバレー・グランドゴルフなどです。卓球大会につきましては、本館はなくなりましたが、分館では行なってみました。後でこの大会は続けてほしい、との意見をいただき今後の参考にとします。いろいろな大会をする中で大勢の皆様の参加により、本当に楽しかったと言う声を聞き、うれしく思いました。今後共区民の皆様のご

意見を聞く中で企画・運営し、行事への参加とご協力をお願いし、体育行事を遂行していきたいと思っております。よろしくお願い致します。

図書館が移転
公民館二階へ

図書部



酒井静男

区民の皆様方には、いつも図書館を御利用いただきありがとうございます。新年度を迎え、図書部の予定を御報告致します。

昨年図書室が公民館二階に移転となりました。それに伴い利用方法をいままで以上に簡素化し、だれでも気楽に借りやすいように致しました。貸出日は、

- ・今まで通り毎月十五日は開館日とします。
- ・十月・四月までは七時三十分より一時間
- ・五月・九月までは八時より一時間

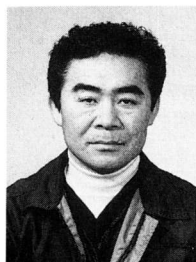
尚、八月は十日に行います。その他に公民館が会合等で

開館している時は、自由に図書室を御利用いただけます。図書部員はいませんが自己申告にてノートに記入して借りていって下さい。返却も公民館が開いている時は随時行えます。又、常会・隣組・各種グループ等を利用したい方がありましたら、図書部員まで連絡下さい。貸出も致します。

今日現在一七〇冊ぐらいの利用出来る本があります。又、七月には新刊図書約五〇冊ぐらいの購入を予定しています。御希望の本がありましたら図書部員までお知らせ下さい。購入致します。区民の皆様方ますますの御利用をお待ちしています。

ビデオテープの
貸出も計画

視聴覚部



桃沢芳樹

初年度の反省を生かし、皆様の協力をいただき部員一同頑張ってきたと思います。今年は御柱の年でもあります。部員の総力をあげて各行事に取組みたいと思っております。特に視聴覚主催の区カラオケ大会は、教養部の皆様の協力をお願いして音響・照明を中心に頑張ります。撮影済みテープをどのような形で皆様に視ていただくかが課題となっています。が、一案として図書部に協力をお願いして図書部に編集済みテープを置き、希望の方に貸し出しをしたらと案もあり、今年は是非実行したいと思っております。又、希望の方にはコピーをして実費にて購入していただける様な体制作りをしたいと思っております。

近い将来近隣町村で普及しつつあるケーブルテレビで、今まで記録してきた作品を各家庭で視聴事が出来る日も近いのではないのでしょうか。

視聴覚部長の大役をお引き受け、多くの皆様のご協力が無事初年度を終る事ができました。二年目に入り

共星会が主催した納涼祭

二区部落主事 蜂谷睦雄

たメンバーが
三三五と広
場を集まり、
装飾・出店・本年度二区単独行事とし
ては、四月十二日 体育大会
七月十三日 納涼祭翌年三月十五日 体育大会
を実施し親睦を深めた。各
行事が盛会であった裏には
部落各種団体・クラブの協
力が大きく、中でも若者の本年度二区単独行事とし
ては、
ステージ造り・拡声装置設
置と忙しく動き回っている。
出店からは食欲を誘うにお
いが広場を覆う。会場正面
にはトラック改装のステー
ジが完成。新調された法被
の共星会員の動きも激しく
なる。ゆかた姿の女兒や、小中
学生が家族と共に歩を進め
ている。周辺道路には安協
役員が交通安全のために立
哨。夕闇迫る頃には地元は
勿論、町内外からの参加者
が広場を埋め尽くす。(約
四百人)

おらが地区

にはいられない。

若者の集い「共星会」は
部落全員が参加し、触れ合
いを深める行事を模索する
中で、夏の一夜の納涼祭を
計画、実施した。六月三日
より勤めの合い間をみての
会合や準備を重ね、七月十
三日当日を迎えた。

当日の午後は勤めを終え

共星会長・部落長・町長
の挨拶が終わりに開演。常会
代表・有志に依るカラオケ、
民謡クラブ・若妻会に依る
民謡踊りが特設ステージを
賑わす。そんな余興を肴に
広場の真中ではいくつかの
グループの酒宴が見られ、
時間が過ぎるにつれ、これ
等の固まりは知らず知らず
の内に触れ合いの場に早替
わり。そんな中に町長・助
役・館長の姿も見られ和気
藹藹の雰囲気醸し出され
た。
触れ合いに酔い浸った夏

お城とハッピーと

四区部落主事 北原 幸男

「今度の運動会には、な
にかどえらいことをやって、
町中に「四区ここにあり」
ってとこを見せてやらまい
か」「そうだ、四区には『松岡
城』っていう大きさでも保
存状態でも県下有数の城跡
があるで、あれを団結のシ
ンボルにしたらどうぞら」そこで、去年の町民運動
会に、お城のみこしを作っ
て場内を練り歩き、大喝采
となったことは、御存知の
通りです。これは主に四区の青壮年
組織である『漸進会』が中
心となって進めたのですが
その後、部落中に広がった
団結の気運を何とか形にし
て残し、更に和を計って行
こうということで、ハッピー
を作ることになりました。
「いっそ、お城を背負っ
ちまいえかな」夜のひとときも、拡声器
から流れる高森音頭で終幕
を飾った。「いいことだ、
来年も是非」こんな声が熱
気覚めやらぬ広場に残った
夏の夜の納涼祭であった。注文をとって
みると、驚いた
ことに部落全戸
が申しこんでく
れ、今年一月に
配ることが出来
ました。今、このハッピーはその晴
れの出番を夢みて、各家の
タンスの中に、静かに眠っ
ていることでしょう。今後、各種のイベントの
あるところ、区といわず、
町といわず、必ずこのエン
大々くなくてはなりません。

歴史と伝統を誇る出砂原

六区部落主事 大屋敷清利

昨年をふりかえってみる
と例年通り区や町の行事へ
の参加、部落独自の行事が
あった。その中から二、三
度の、観客動員数、規模内容
の行事について報告したい。
出砂原の行事といえば何と言っても灯
籠流しである。
近年この地方
の各地で花火祭りが盛大に
行われるようになったが、
その中で長年の歴史と知名
度、観客動員数、規模内容
共に群を抜いているものと
自負している。昨年も例年にも増して盛大に行うこと
ができたのは喜ばしい限り
である。それには、地区民
の物心両面にわたる協力、
特に祭り関係者の計画準備
寄附集め等二ヶ月半ものご
苦労に對して深甚なる敬意
と感謝を表したい。新しいイベントが次から
次へと企画される中で「柿
とカヌーと祭りの町」のキ
ャッチフレーズにふさわし
く高森町の誇れる行事とし
て全町のなご支援をお願い
し、伝統を守り続けていく
責任は重大である。卓球大会も例年通り常会
対抗で二月十一日に行った。
今年は町はドッチボール、
区は卓球大会ということど
多少迷いはあったが今まで
の積み重ねのある卓球大会
を行った。常会数十一に役
員チームを加えて十二チー
ム。選手は一チーム男四女
三の計七名。国体級からピ
ーン、ボーンと楽しみ派ま
で、年令も十代から六十代
まで幅広く、勝敗は厳しい
が楽しみながらできた。又
屋敷は、公民館の大広間を
借りて、各常会毎に楽しい
会食が行われ趣旨にそった
大会となった。グランドゴルフは始めて
二年目だがみんなにた

講演会

中国四千年の技……気功太極拳

去る二月二十八日(下市田)公民館が主催する、講演会が区の公民館で開かれました。

講師に楊家気功太極拳師

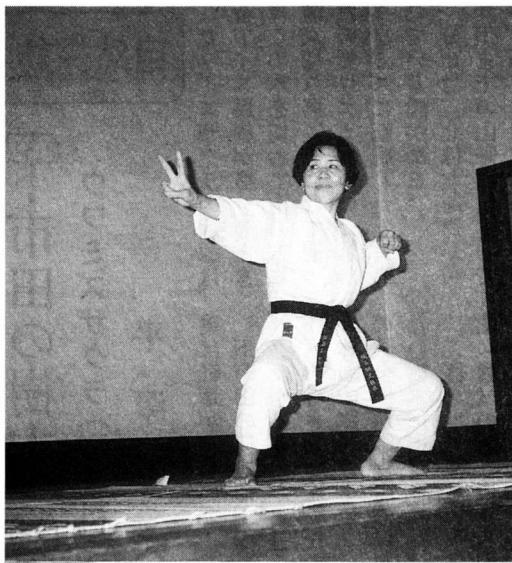
範、佐藤美和先生をお招きして、気功太極拳のお話と実技を交え、講演していただきました。

当日は、太極拳という言葉をよく耳にしますが、その姿を実際に目にしたことがなく、みなさん興味を持って参加して下さいました。

太極とは、宇宙のはじまりを指し変化の起きる状態、すなわち森羅万象(宇宙にある全てのもの)の変化の原動力を指します。

楊式は、一九五八年に、八十八の型を二十四の型に簡化太極拳として整理統合しました。虚と実、動と静、

剛と柔が完全に結びついて絶えず転化し、水が流れるごとく気がとぎれない様に行います。その動きは、理にかなったもので、気のな



佐藤先生の勇姿



講演会に参加して

清水英昭

中国の拳術である太極拳の話と実技の講習に参加して、高森町にも技の師範の佐藤美和先生がおられて聴講出来る機会が得られたことに感謝いたします。

太極拳が護身の技だけに、あらず、呼吸と二十四式・八段錦の体を使った型づくりの動作が健康体づくりの理に合っていることを体験し、その一部を家族に教えて一緒にしています。気功を長い目で見て期待し心して太極拳を一つでも自分の型にしようという心がけ実践しています。教養部が一人でも多くの人が先生の指導を受ける機会を計画し、継続して技の講習ができることを希望いたします。

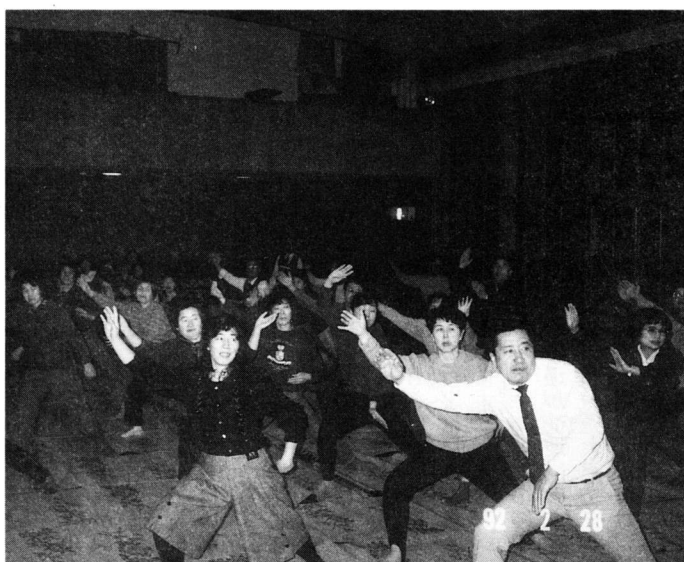
気功太極拳に参加して

小畑すみゑ

「気功太極拳」耳にはしてはいたが、と恐れ多い気持ちで入った会場にパツと咲いた一輪の花のような女性の先生がおられホッとしました。まず歴史について話され、次

いへん喜ばれている行事である。その理由は誰でも参加できることだ。保育園児から八十才位の方まで巾広く参加してもらえた。これも常会対抗で行い、思わぬトラブルやハプニングに一層の興を添え楽しい大会となった。

最後に、盆野球大会に優勝し、出砂原の意気を盛り上げ嬉しい年だったことを特筆記事としておきたい。



水の流れるごとく……???

は実技をやりながら一に精神統一をする呼吸法腹式で。二に腰の調整術。三に八段錦。四に太極拳のポーズ二十四種。次に体を柔軟に最後に腹式呼吸。今回はポーズを真似するのには忙しかったけど、とこ

ろどころ二〇%位マスター出来た。慢性病、腰、肩等幾多の効用もあるというが翌朝は体が壮快でよかった。朝やるといいそうだ。又機会があったらじっくりと教えてみたいのです。

自然探訪

「下市田の樹木」(三)
ウワミズザクラ(バラ科)

平澤 忍 夫



ウワミズザクラの語源は、昔アイヌ民族が祭りのときにこの木を切って上の方に溝(切り傷)をつけて使ったのでウエミズがいつしかウワミズに転訛したと言われている説がある。

分布は、北は北海道から九州までの山野に自生しているが、北海道のはエゾのウワミズザクラとも言う。

サクラと言うと染井吉野か山桜の花が思い浮ぶが、この花を見てこれが桜の花と思うような花である。

ウワミズザクラは四月から五月にかけて枝先に穂状の白い花を咲かせる。花が終ると青い実がつき、黄赤色に変化し熟すると黒色となり小鳥が好んで食べる。

葉は紅葉が美しい。

下市田の何処にウワミズザクラがあるのかと言うと四区の林さん一族の氏神様の林の中にあります。(この林全部が高森町の保存したい樹木に指定された。)

二区の北沢薫さん所有の山(農試の前)にあることが三年程前に発見されました。保存していただくようお願いしてあります。

今年は北沢さんのお許しをいただいて下の方の枝に網をかけさせていただき、青い実から黄色に赤色にそして熟すると黒色に美しく変化してゆくのを観察し記録したいと思っています。

小学校の職員住宅の下の前曲っていた道(三区の花壇になっている)の斜面に大きなのが三本あり黄色から赤色に、そして黒色に変ってゆくのが見られ、道に黒く落ちていたのが見られました。今はなくなりました。

ウワミズザクラと殆ど同じに見えるのにイヌザクラ



グループ紹介

共星会(二区)

酒井 隆 司

があります。どこが違うのでしょうか。その違いは花の咲いた頃に実物を見て観察してみませんか。

花見の季節が近くなりまして。染井吉野の下の花よりダンゴの花もよいですがウワミズザクラの花見もしてみませんか。

下市田二区に、しようと願いを込めて(共星会)と名付けた。この趣旨に添う様に発足以来活発な歩みを続けて来ました。

生まれしたのは三年程前であった。涼祭、下市田萩の里祭り、町民運動会、ドッジボール大会。納涼祭を計画した立場は、特技・性別・年齢差を越えた相互の触れ合いを目的とした。当日の参加は町内外を含め約五百人近くに達し目的を果たす事が出来た。「萩の里」祭りには出店と民謡踊りに積極的に参加をした。この折りには民謡クラブからの呼び掛けもあり、前代未聞の高森音頭への参加を見たものだ。(三年前の十二倍五十人余り)

町民運動会では、納涼祭で新調した「はっぴ」を着たり、仮装によったりの応援で選手

共星会の皆さん

共星会(二区)の皆さんは、今年も町民運動会、納涼祭、下市田萩の里祭り、町民運動会、ドッジボール大会。納涼祭を計画した立場は、特技・性別・年齢差を越えた相互の触れ合いを目的とした。当日の参加は町内外を含め約五百人近くに達し目的を果たす事が出来た。「萩の里」祭りには出店と民謡踊りに積極的に参加をした。この折りには民謡クラブからの呼び掛けもあり、前代未聞の高森音頭への参加を見たものだ。(三年前の十二倍五十人余り)

町民運動会では、納涼祭で新調した「はっぴ」を着たり、仮装によったりの応援で選手

F & F (一区)

秋田 金 一

会員で、グラン
ドゴルフと金魚
すくい(五月)、
キャンプ(七月)、



F & Fの皆さん

私達F & F (フレンド&ファミリー)は昭和六十三年に発足し、現在一区在住の約三十七家族一〇〇人の

きのこ会(十月)、餅つきと忘年会(十二月)等の行事を行っており、会の名前の如く「友達と家族のつながりを大切にしよう」が会の主な目的です。

同じ区内の人達と出会うのもこの誰か分からないような事で無く、誰とでも会話のできるような関係を作ればとても良い事だと思います。

とかく、家に閉じこもりがちの子供達に少しでも自然の大切さ、美しさを知ってもらいたい心豊かな大人になつてもらいたい事から、私達の行事は戸外が多くなっています。

の士気を鼓舞したものだ。その応援振りは、町内他部落の注目を集めた。

こうした活動が出来たのも、会員の理解と協力があった。このうえに、部活、町よりの物心両面からなる援助協力も、私達の活動の支えだった。共星会が今日あるのは多くの方々や組織のお陰と感謝しつつ、筆を置きます。

特にキャンプの時などは子供達が他地区の友達を誘い、自分達だけでテントに寝て、用意、片付け、朝の掃除をするようになりました。

子供達の中でもこういった縦横のつながりを持つ事で「登校拒否」「いじめ」「非行」などの防止にも少なからず役立ってほしいと願います。

委員会のひとこま (その一)

水利の維持・管理に全力を

下井 美紀男

私共、水利委員の仕事は排水等の問題が多くなって地区計画への取りくみが主な活動になっていますが、下市田区内に昔から有する全ての水利権を保持していくための定着した事業があります。水利権は、各々の水系、水脈で固有の形が存在しますが、用水を通じて生きている我々皆の共同の財産です。この大切な権利の為に、委員は各々の取入口の点検や、井ざらいの呼びかけと実施などの役目があります。更に区内に四ヶ所の堤を所有しており、水溜を管理しています。堤の内側は浸食崩壊をさける為のシートが張られています。外側の土手の草刈が大変な作業になります。それを少しでも容易にする為の春の土手焼き作業が恒例で行われました。この仕事は、周囲への配慮の外、内側のシートやフェンスを焦がさないようにと、気配り



堤の土手やき

未来を夢みて

野神 昭三

今回林務委員会より活動報告を、させていただく事になりましたので、先ず現況から話してまいります。

下市田区の所有する山林の総面積は、およそ三五haです。この内、八haが人工松林で、残りが赤松を主体とする自然林からなっています。

林務委員の活動は、この育林管理作業を区民の出労働協力の中、行っているわけですが、年間一日の出労働費も四〇%という出勤状況です。昨より二年間に一日の割当と致しました

ので、是非六〇%以上の出労働協力をお願い致したいところ。作業内容は松林の場合、生育状況・樹令ごと、下刈り・枝打ち・間伐作業を計画に基づいて行なっています。

樹齢四十年ものについては、柱材としてぼつぼつ伐期がきていますが、赤松林については、間伐整理を毎年三ha程づつ計画作業で行なっていますが、区の山林全て保安林指定になってしまっています。したがって全ての作業は県の指導の元で補助事業として行なっているわけです。

地区計画に協力

村沢 利美

私達土木委員六名は公私共に、下市田区の皆様方には大変お世話様になっております。特に土木工事につきましては、地権者の皆様方、又地元関係者各位の深いご理解とご協力をいただき心より感謝しお礼申し上げます。工事は地区計画にそって進めています。毎年十一月になると各部落から来年度要望事項を出して頂き、それを区でまとめ審査

して順番を付け町へ上げ、又審査をして予算付けが行われます。要望事項の中には困った事が有ります。それは道路拡幅の例をとりますと、拡幅用地確保の見通しの立たない要望は順位が下の方になりますのでご協力をお願いいたします。さて平成三年度地区計画の概況を報告致しますと、概ね地区計画通り進められています。金部の工事で、一部遺跡発

平成二年度に延長四〇〇mの作業道新設、三年から四年度にかけ、生活環境保全林整備事業を取り入れ遊歩道という事で、作業道として使えるよう、二本で約一kmを新設中です。

その他区有地の草刈等管理手入れ、道路等への障害木除去と、委員出勤日数は、年二十回となっています。



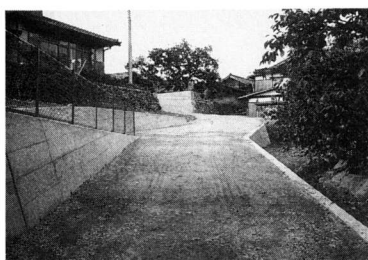
山作業

掘調査のため全線開通出来無くなり次年度に繰越になりました。道路維持に付きましては九月までに終了し、アスコン舗装、ガードレール設置も終わりました。道路改良に付きましては、完了箇所と工事中の所が有ります。平成三年度下市田道路工事概約金額です。五九四万円

舗装工事 一、五二七万円
一の一〇号町道改良(国補) 三、七七九万円
町道二・三級改良工事 五、九八八万円
改良工事金額に付きましては工事完了してないので概算です。
以上ですが、平成四年度も引き続き協力の程お願い申し上げます。



着工前



着工後

たのしい一日 ふれあい広場

三月九日やすらぎ荘で、「第三回萩の里ふれあい広場」が行われた。お年寄り、身体の不自由な方、一人暮らしの老人、介護者、保育園児と保母合わせて二二〇名が招待され、親睦と交流を深めた。

招待者の迎えはバス六台で、山吹公園山吹邸へ案内され、やすらぎ荘で開会式、保育園児の歌やおどりを楽

しい一日は終わった。感想を聞いてみると「いつもやすらぎ荘へ来ることを楽しみにしているんだ」と笑顔で答えてくれ、又、来年もお会いしましょうとお別れの挨拶を交した。

この催しは、町社会福祉協議会が計画立案し、萩の里ふれあい広場実行委員の方々一三〇名余の協力により行われ、昼食には米二斗八升(約四二キロ)、カレーは四十人分目安の鍋で九つが用意された。



保育園児の歌



高森に住んでみて

一区 斉藤 加代子

かな所というのは、概して生活環境が不備なものです

東には、伊那山地が望まれ、北の方角に目を転じると、桜の木で有名な高森南小学校があり、春になると桜が咲きはこるび私達の目を楽しませてくれます。

こういった自然環境豊かな地に移り住んで二年の月日が過ぎました。自然が豊か



います。

この様に、老人や子供に主体を据える、高森町に住むことができる様になって幸せだと思っています。

町歌との出逢い

五区 田中 達郎

五年前の春、滝本先生から高森町歌の楽校へ赴任した。さわやかな流れを感じる旋律で



町歌であった。

伊那谷一番に朝日に映える高森、さ霧湧き立つのも一番、歌詞からにじみ出る明るく豊かな町のたたずまいを対岸の学舎から展望したその年の夏、私は武陵地に拙宅を求めて移り住んだ。小鳥の囀り、蛙の鳴く音、果樹の香と日の光り、そして土のぬくもりを朝な夕な五感に味わっている。

子育ても一段落となり、ようやく己を省る余裕を覚える昨今、日だまりのわが庭に立って「明日の幸を…」と歌いたい気分である。

随想

青少年に期待する

久保田 利明 (五区)



樹々の姿芽吹くころ、教
育現場に於ては、元気ある
青少年が母校を後に一段と
大きく見える時でもある。
この時期になると思い出す
ことがある。今から三十数
年前、高校の卒業を控えた
頃のことである。担任から
卒業を前にして篤と聞かさ
れた話を思い出す。
江戸時代に、日本的な南
画を完成させた「池の大雅」
という画家の話である。こ
の画家の言葉に「小僧象は
うお歳ですから今より
は偉くなることは
ありませんが、お小
僧たちは後世恐るべ
き人物になるかもし
れないのだからなん
となく尊いという言
葉である。
これからの時代を
担う若い青少年が、



この画家の言葉のように無
限の可能性を持って大きく
活躍されることを期待しつ
つ、思い出す今日このごろ
です。

雪の朝

村松 登美子 (二区)

前日から降り出した雪が
強い風にあおられて、あち
こちに吹きだまりができて
いた朝のことである。まだ
水気の多い雪が降り続いて
いた。玄關の戸にも腰のう
えあたりまで、重い雪がへ
ばりついていて。こんなこ
とは今迄にないことであっ
たが、低いところにある新
聞受けも雪に埋もれていた。
こんな天候では、新聞も
まだきていないだろうと思
いながら、雪を払い除けた。
その手にふれた感触に、戸
のとした心



持ちになった。オートバイ
は動いたのだろうか、もし
かしたら、歩いて配られた
のではないだろうか、そ
のあたりを見廻してみたが
雪がその跡を消していた。
「冷たい雪と風が、思い
がけないあたにかい心を届
けてくれたね。」と新聞を広
げている夫に話しかけた。
×××

いま妻の訴えようとした
ことは、「死を憎んでいるな
ら、只今の生を愛しなさい」
という意味なのだろうか
と思うようになりました。死
が来ることを忘れて、自分
の内に楽しみを求めようと
せず、外へ楽しみを求めて
悩んでいる、今生かされて
いることへの感謝をもたな
い愚かな自分に気づいて参
りました。

このメッセージから私の
人生に應える示唆が限りな
く得られるように思い宝と
しております

著者が
生かされる
著我咲いて恩ある命

小指のメッセージ

木村 喜久雄 (四区)



妻は臍
臓癌に侵
されて急
逝しまし
た。死の
直前三十
分ほど前
から私の
手を握っ
てました。
残す三人の子供のことを
言いたかったのだろうか、
いや真の病名を告知しない
夫への不信の念か。五年後
の今日までいろいろこの
メッセージを想像しており
ます。

たまたま逝ってしまいました。
握手している間無意識のな
か瘦せた棒のような指で数
度ささやきました。何か最
後に言い残したかったのだ
ろうと思いますがはっきり
しません。

小中学生の作文

部活動の中の充実感

中一片 桐 雅 浩 (六区)

今年一年、僕にとって、充実した中学校生活を送れたと思っています。その中でも、今年一年、なにより一番充実したと思っています。それは、部活動でのことだと思っています。

僕は、まえまえから「中学に入ったら、部活は野球部に入るんだ。」と決めていました。なぜ、野球部にこだわったかというと、兄の影響もあったと思うけれど、小学校の頃にスポーツ少年



優勝旗を持つ雅浩くん

との交流が深まったということだと思っています。なぜこんなことが充実したかというと、今まで話をしたこともない先輩などと、部活がきっかけで気軽に話ができたり、みんなとも、この一年、協力をしてきたからこそ部活が続けられたと思っています。僕にとって、このことが一番の充実です。

四年の思い出

小四 北 沢 茂 利 (二区)

夏休みに、天理に行きました。一人で家をはなれるのは初めてだったけど、知っている人がいっぱいいたので安心して行けた。中央道を通って行きました。白バイやサイドカーやけい察の人が通って行きました。着いた時、中国みたいな建物があった。ここかな、と思ったけどちがかった。泊る所に着いたら、みんな部屋を決めてもらって休んでいた。ぼくもねむたくなっていた。昼食を食べてみんなで遊んだ。となりに行ってトランプをやった。次の日の朝、朝のおつとめをした。



左が茂利くん

ちょっとわすれてしまっただけで、なんとか終わった。夜には、夜店でいろいろあったのでだいたいお金をつかいはたしてしまった。その後バレーボールを見た。なんだかいっぱいやってきたらほかの人とも仲良くなった。もう一度行きたくなった。楽しい人もいたし、カレーもうまかった。あまり行かない所だし、三回行けばなにかもらえる。恐怖のやかたも楽しかった。そして、まいごになった人もいた。南小の人で、しげ君だ。一人で夜店に行ってしまうていた。

三日目、長島温泉のプールで泳いで帰って来た。二泊三日のぼくの初めての旅行が終わりました。

編集後記

昭和六十一年の御柱から満六年。萩神社の御柱祭りは三月二十九日盛大に終わった。彼岸入り、十七日の朝は銀世界でびっくり。な・た・ね・つ・ゆとかで本州南岸に前線が停滞し低気圧が次ぎ次ぎと通った。三月下旬は天気に恵まれなかったが、晴れ間を見て松岡城址に春を訪ねた。日当りのよい雑木林にシュンラン(春蘭)の淡黄緑色で清楚な優しい花が覗いていた。報道によれば桜前線も北上。ソメイヨシノの開花予想は飯田で四月二日とのこと。春は確かに来ている。

区報二十二号の発行に当り区の委員会や公民館関係の活動、行事などの反省や感想のほか随想や小中学生の作文など原稿や写真にご協力をいただき厚くお礼申しあげます。

編集委員会では子どもからお年寄りの方々に気軽に楽しく読んでもらうため、区内の行事やできごとを中心に編集しています。行事などに参加した感想や意見など投稿できる方は委員にお伝えください。

がんばらなきや!!

小四 小木曾 親 恵 (三区)

春はもうそこまで来ています。卒業式も、もうそこにまじかまえています。卒業式が終って、春になるといよいよ新学期がスタートします。

私は新学期になると、とってもうれしい事があります。それは、一つ上級生に

なれるという楽しみがあるからです。そうなれば、中学年ではなく、高学年の仲間入りです。今年の目標は、春になるとかわいらしい一年生も入ってくるので、もしもこまっていたら、高学年らしくこまっている人を助けてあ

げられるような、勇気のある高学年になりたいと思います。毎年、目標を立てても、なかなか守れないので、今年の目標を必ず守りたいです。あともう少しで高学年(5年生)。

がんばらなきや!!



一番右が親恵さん